GNOME Desktopの使い方

基本情報と手順

概要

GNOMEは、SUSE Linux Enterprise Server用のユーザフレンドリなグラフィカルデスクトップ環境です。このガイドでは、デフォルト設定、カスタマイズ、および一般的な操作について詳しく説明します。

目的

このドキュメントでは、 SUSE Linux Enterprise Serverユーザ向けにGNOME Desktopの基本設定と日常的な使用方法について紹介します。

所要時間

このガイドの理解には25分ほどを要します。

目標

GNOME Desktop機能の基礎的な理解を深め、特定のニーズや好みに合わせてカスタマイズする方法を習得します。

要件

- SUSE Linux Enterprise Serverシステムにインストールされた`Desktop Applications`モジュール

発行日: 01/10/2026

目次

1 GNOME Desktopの概要 3

2 GNOME Desktopセッションへのログインと管理 3

3 GNOME Desktopのビジュアル概観 6

4 GNOME Desktopでの操作 8

5 GNOME Desktopの設定のカスタマイズ 16

6 詳細情報 28

7 法的事項 28

A GNU Free Documentation License 29

1 GNOME Desktopの概要

SUSE Linux Enterprise Serverには、使いやすいグラフィカルインタフェースを備えたデスクトップ環境であるGNOME Desktopが含まれています。この記事ではGNOME Desktopのデフォルト設定について説明します。ユーザ自身またはシステム管理者がデフォルト設定を変更している場合は、外観やキーの組み合わせなど、特定の部分が異なることがあります。

1.1 GNOME Desktopとは

GNOME Desktopは、GNOME上に構築され、エンタープライズ向けに最適化された、合理化された最小限のグラフィカル環境です。これには、端末、テキストエディタ、ファイルとWebブラウザ、基本的なマルチメディアやドキュメントビューアなどの重要なデスクトップコンポーネントが含まれています。

GNOME Desktopは、デフォルトで Wayland上で動作し、 レガシーX11アプリケーション向けに`xwayland`をサポートしています。アクセシビリティ、多言語入力、RDPを使用したリモートアクセスのためのインフラストラクチャを提供します。追加のGNOMEアプリケーションは、明示的に必要でない限り除外されるため、軽量で安全なエクスペリエンスが保証されます。

1.2 GNOME Desktopの利点

GNOME Desktop は、無料のオープンソースで使いやすいデスクトップ環境であり、日常のタスクを整理して完了させるのに役立つさまざまなコアアプリケーションを提供します。アクセシビリティ、多言語入力、RDP経由のリモートアクセスのサポートが組み込まれているため、GNOME Desktopは、エンタープライズ環境に最適です。

2 GNOME Desktopセッションへのログインと管理

GNOME Desktopへのログイン方法、およびセッションを一時停止または終了する方法を習得します。

2.1 セッションの開始

SUSE Linux Enterprise Serverシステムを起動すると、最初にログイン画面が表示されます。すべてのユーザは、セッションを開始する前に認証する必要があります。この手順は、個人情報とデータを不正アクセスから保護するのに役立ちます。

手順 1: ログイン方法

1. ログイン画面で、ユーザ名を選択します。
   自分の名前が表示されていない場合は、Not listed? (表示されていない場合)をクリックします。続いて、ユーザ名を入力し、次へをクリックします。
2. パスワードを入力し、`Enter` で確定します。

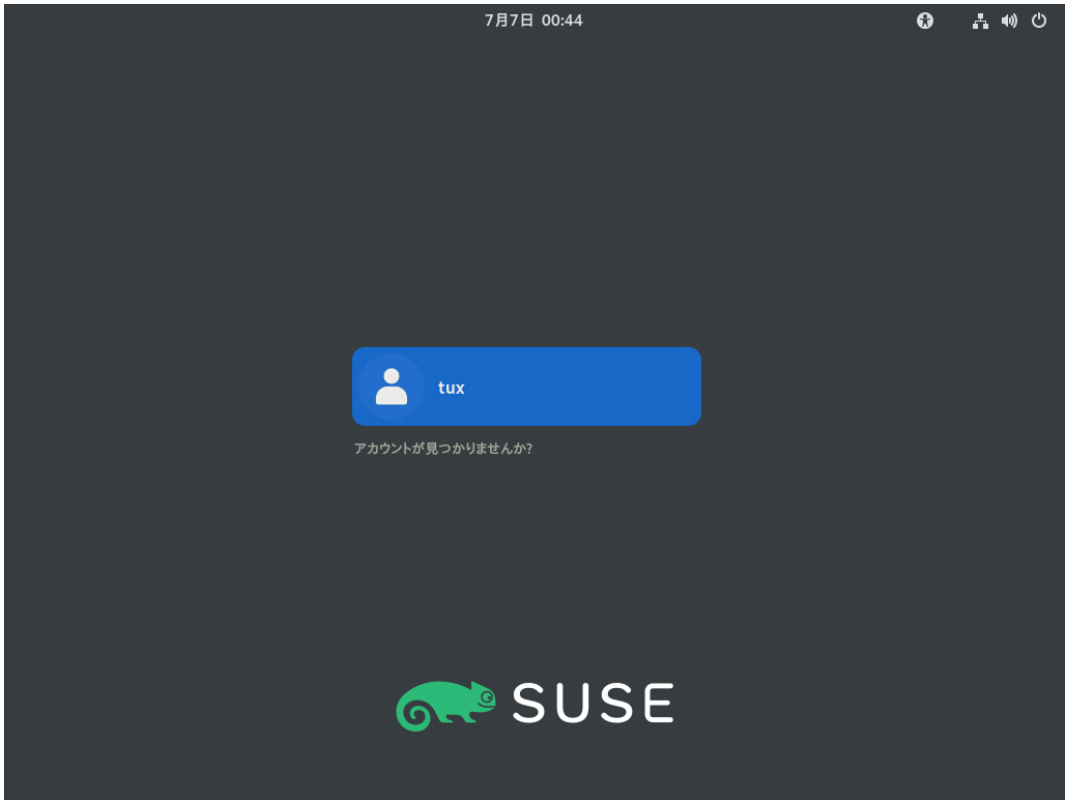

図 1: デフォルトのGNOMEログイン画面

注記: 自動ログインの有効化

コンピュータを1人で使用している場合は、システム起動時にこのユーザの自動ログインを有効にすることができます。これにより、時間は節約されますが、アカウントのセキュリティに影響を及ぼします。自動ログインは、インストール中に有効または無効にすることができます。セキュリティ上の理由から、自動ログインは推奨されません。

2.2 セッションの一時停止または終了

セッションを一時停止または終了するには、トップバーの右上隅にあるシステムメニューを開きます。電源オフボタンをクリックし、表示されているオプションのいずれかを選択します。

- **一時停止.** セッションを一時停止し、システムを低電力モードにします。サスペンドモードは、画面をロックして、他のユーザが作業を見たり、変更したりすることができないように設定することができます。サスペンドモードからのコンピュータの復帰は通常、コンピュータの完全な起動よりもはるかに高速です。
  このモードは、STR (Suspend-to-RAM)、スリープ、またはスタンバイモードと呼ばれることもあります。
- **再起動.** 現在のセッションを終了し、コンピュータを再起動します。システム更新を適用するには、再起動が必要です。
- **電源オフ.** 現在のセッションを終了し、コンピュータの電源をオフにします。
- **ログアウトまたはSwitch User (ユーザの切り替え).** 現在のセッションを終了しますが、コンピュータの電源はオンのままなので、他のユーザがログインできます。このオプションは、複数のユーザアカウントが存在する場合にのみ使用できます。

2.3 画面のロック

1. 画面をロックするには、トップバーの右上隅にあるシステムメニューを開き、南京錠のアイコンをクリックします。

   画面をロックすると、最初に時計付きのカーテンが表示されます。しばらくすると、画面が黒くなります。

2. 画面をロック解除するには、マウスを移動するかキーを押して、ロックされた画面ダイアログを表示します。パスワードを入力して `Enter` を押します。

2.4 ログアウトまたはユーザの切り替え

注記: マルチユーザシステムでのみ利用可能なオプション

システムに複数のユーザアカウントがある場合にのみ、ログアウトおよびユーザの切り替えエントリがメニューに表示されます。

1. システムメニューを開き、 電源オフ ボタンをクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します。

ログアウト
: 現在のセッションからログアウトし、ログイン画面に戻ります。

ユーザの切り替え
: 別のユーザがログインできるようにセッションを中断します。

2.5 コンピュータの再起動またはシャットダウン

1. システムメニューを開き、 電源オフ ボタンをクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します。

一時停止
: セッションを一時停止し、システムを低電力モードにします。サスペンドモードは、画面をロックして、他のユーザが作業を見たり、変更したりすることができないように設定することができます。サスペンドモードからのコンピュータの復帰は通常、コンピュータの完全な起動よりもはるかに高速です。

再起動
: 現在のセッションからログアウトし、システムを再起動します。

電源オフ
: 現在のセッションからログアウトし、システムをシャットダウンします。

3 GNOME Desktopのビジュアル概観

アクティビティ画面、 時計とカレンダ機能、システムメニューの使用方法を習得します。

3.1 アクティビティ画面

アクティビティ画面には、開いているすべてのウィンドウのプレビューと、お気に入りのアプリケーションと実行中のアプリケーションのアイコンが表示されます。また、検索機能とブラウジング機能も統合されています。

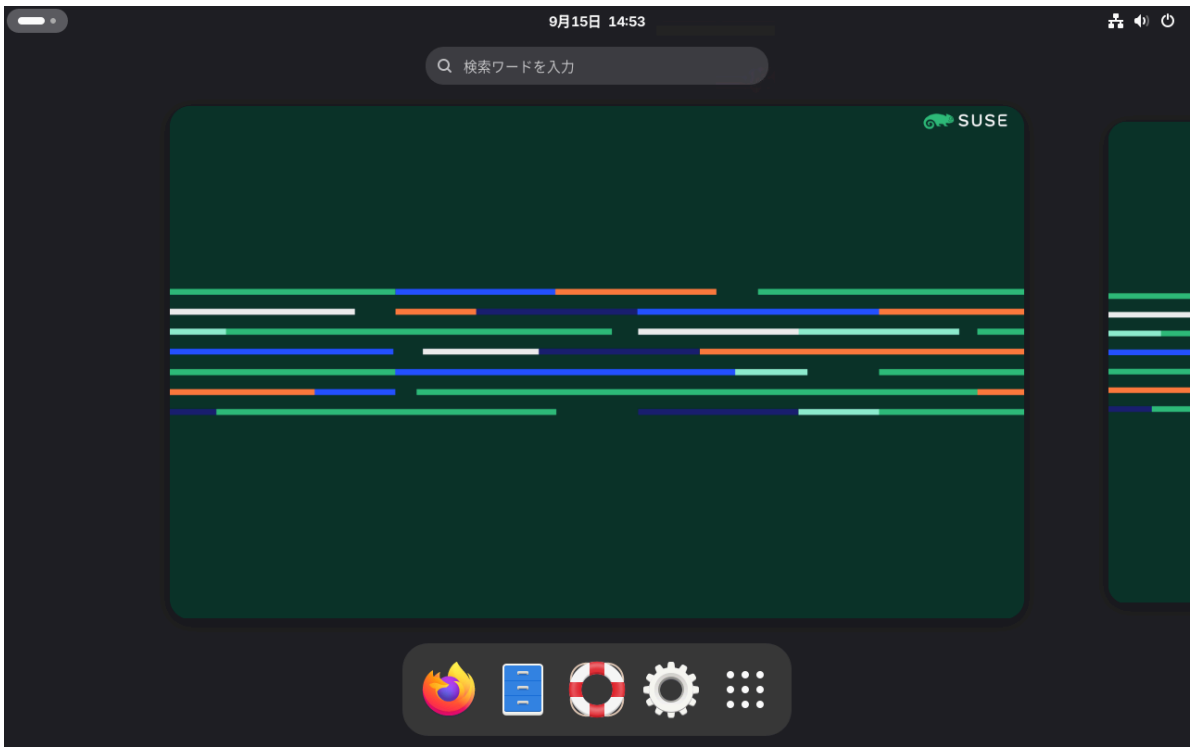

図 2: GNOMEデスクトップとACTIVITIES OVERVIEW (アクティビティ画面)

アクティビティ画面を開く

アクティビティ画面を開くには、次のオプションがあります。

- トップバーの左隅にあるアクティビティボタンをクリックします。
- マウスポインタを左上のホットコーナーに移動します。
- キーボードで `Meta` キーを押します。

アクティビティ画面の機能

検索ボックス

上部にある検索ボックスを使用して、ホームディレクトリ内のアプリケーション、設定、およびファイルを検索します。
検索する際に検索ボックスをクリックする必要はありません。アクティビティ画面を開いたら、すぐに入力を開始してください。入力中に検索が開始されるため、 `Enter` を押す必要はありません。

dash

dashは、下部の中央に配置されたバーです。これには、お気に入りのアプリケーションと実行中のアプリケーションが含まれています。いずれかのアイコンの上にマウスポインタを移動すると、対応するアプリケーションの名前が近くに表示されます。アイコンの下にある小さなドットは、アプリケーションが実行中であることを示しています。

アイコンを右クリックするとメニューが開き、関連付けられているプログラムに応じてさまざまな操作を実行できます。ダッシュボードにピン留めを使用すると、アプリケーションアイコンを常にdashに配置することができます。dashからプログラムアイコンを削除するには、固定解除をクリックします。アイコンを並べ替えるには、マウスを使用して新しい位置にドラッグします。

3.2 時計とカレンダ

トップバーの時計アイコンをクリックすると、現在の曜日と時刻が表示されます。カレンダ自体、またはカレンダによってサポートされている他のカレンダアプリケーションを使用している場合は、今後の予定や通知も表示されます。

3.3 システムメニュー

システムメニューを開くには、画面の右上隅にあるアイコンをクリッします。ここから、音量と明るさの調整、ネットワークと電源の設定の管理、スクリーンショットの撮影、画面のロック、ユーザの切り替え、ログアウト、またはシステムのシャットダウンを行うことができます。

4 GNOME Desktopでの操作

GNOME Desktopでのファイルの管理方法、リムーバブルメディアへのアクセス方法、支援技術の使用方法を習得します。

4.1 ファイルとディレクトリの管理

GNOME Filesアプリケーションは、ローカルファイルとリモートファイルを管理するためのグラフィカルインタフェースを提供します。起動するには、 `Meta` を押し、filesを検索し、ヒットリストからFilesを選択します。

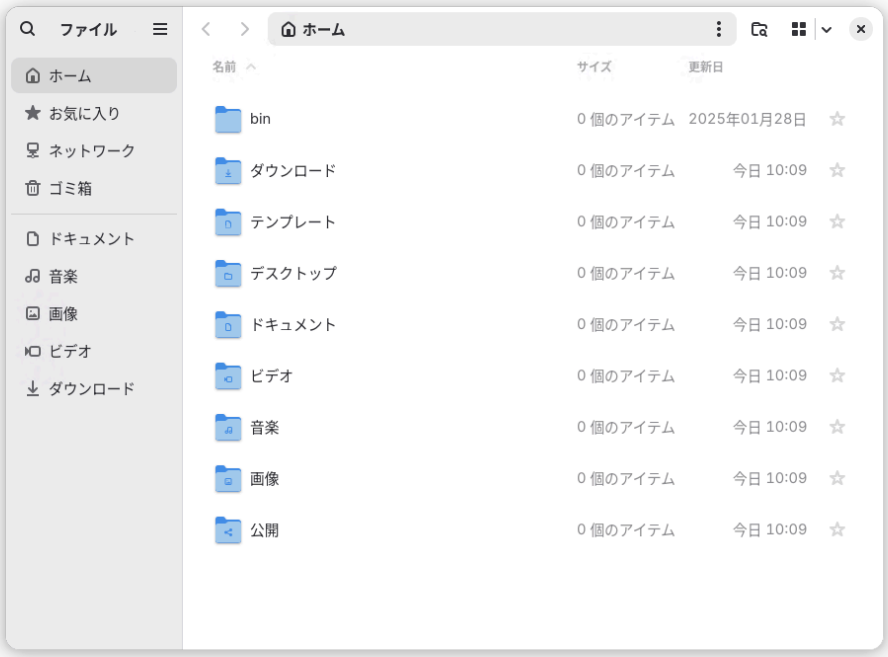

図 3: GNOMEファイルマネージャ

主なインタフェース要素には、次のものが含まれます。

ツールバー

戻る/進むナビゲーション、検索機能付きのパスバー、表示オプション(リストまたはグリッド)、並べ替えコントロール、および現在のフォルダに固有のアクションと設定用の縦3点リーダメニューが含まれています。

補足

頻繁に使用するフォルダやネットワークの場所への迅速なアクセスを提供します。サイドバーは `F9` で切り替えられます。

メインメニュー

サイドバーの上部にある 3 本線のアイコンには、設定を開く、アイコンサイズの調整、フォルダの作成、新しいウィンドウやタブを開くなどのオプションがあります。

コンテンツ領域

選択したビューでファイルとフォルダを表示します。ツールバーの表示メニュー(右上)を使用して、グリッドレイアウトとリストレイアウトを切り替えます。

コンテキストメニュー
: 項目または空きスペースを右クリックして、メニューを開きます。オプションは、クリックする場所(ファイルまたはフォルダ、または背景)によって異なります。

4.1.1 便利なキーの組み合わせ

次の表は、GNOME Filesのキーの組み合わせの選択を示したリストです。

表 1: GNOME FILESのキーの組み合わせ

キーの組み合わせ	アクション
`Alt` – `←` / `Alt` – `→`	元に戻ります/前に進みます。
`Alt` – `↑`	親ディレクトリを開きます。
`Alt` – `↓` または `Enter`	選択した項目を開きます。
`Ctrl` – `L`	パスバーをボタンビューから編集可能なテキストボックスに切り替えます。 編集可能なパスバーはURIスキーマをサポートしており、FTP、SFTP、SSH、SMBおよび他のプロトコルを介してリモートサーバに接続するために使用できます。たとえば、`ftp://tux@ftp.example.tld`を使用して、`tux`というユーザ名を持つFTPサーバ`ftp.example.tld`に接続します。
`/`	ルートディレクトリに移動します。
`Alt` – `Home`	ホームディレクトリを開きます。
`Del`	選択した項目をごみ箱に移動します。

4.1.2 管理ファイルタスク

ファイルまたはディレクトリの圧縮
: ディレクトリを右クリックし、圧縮を選択し、アーカイブ形式 (`.zip`、`.tar.xz`または`.7z`)を選択し、保存先を指定します。

CD/DVDへのファイルの書き込み

空のストレージメディアを挿入し、サイドバーのBlank Disc (空のディスク)エントリにファイルをドラッグして、 Write to Disc (ディスクに書き込む)をクリックします。

場所のブックマーク

ブックマークしたいフォルダに移動するか、GNOME Files内で特定のファイルを見つけて、ファイルマネージャのリストまたはグリッドビューでその名前の右側にある星のアイコンをクリックします。ブックマークされた項目は、簡単にアクセスできるようにサイドバーの Starred (星付き)セクションに一覧表示されます。

サイドバーの項目(Starred (星付き)セクションの項目を含む)は、名前を変更したり、並べ替えたりすることができます。

4.2 リムーバブルメディアへのアクセス

USBフラッシュドライブやCD、DVDなどのデバイスにアクセスするには、メディアを挿入または接続します。メディアのアイコンがデスクトップ上に自動的に作成されます。多くの種類のリムーバブルメディアについては、［GNOME Files］ウィンドウが自動的に開きます。GNOME Filesが開かない場合は、デスクトップでそのドライブのアイコンをダブルクリックすると、内容が表示されます。GNOME Filesでは、メディアの項目がサイドバーに表示されます。

警告: マウント解除によるデータ損失防止

デバイスを使用した後、すぐに取り外さないでください。システムがデータの書き込み中であることを示していなくても、ドライブで前の処理が完了していない場合があります。

デバイスを安全に取り外すには:

1. アクティビティ画面で、Filesを開きます。
2. サイドバーのデバイスを見つけ、Eject (取り出し)アイコンをクリックします。
   これで、デバイスを安全に取り外すことができます。

4.3 支援技術

GNOMEデスクトップには、障害を持つユーザをサポートし、一般的な支援デバイスの操作を容易にするための組み込みの支援テクノロジが用意されています。この章では、視力の低下や運動能力の障害など、身体に障害を持つユーザ向けに設計された複数の支援技術アプリケーションについて説明します。

4.3.1 支援技術の有効化

アクセシビリティ機能を設定するには、デスクトップを右クリックして設定を選択し、設定ダイアログを開きます。ナビゲーションペインでアクセシビリティを選択します。各支援機能は、個別に有効にできます。

個々の支援機能によりすばやくアクセスしたい場合は、Always Show Accessibility Menu (常にアクセシビリティメニューを表示)をオンにします。これにより、上部のバーに人のようなアイコンが表示され、アクセシビリティ設定にすばやくアクセスできるようになります。

4.3.2 ビジュアルアシスタンス

アクセシビリティ設定のSeeing (表示)セクションでは、視覚に障害のあるユーザを支援する機能を有効にすることができます。

- スクリーンリーダーがオンになっている場合、フォーカスを移動すると表示されているテキストがスクリーンリーダーによって読み上げられます。
- ハイコントラストをオンにすると、前景と背景のインタフェース要素の色のコントラストが上がります。
- On/Off Shapes (オン/オフ形状)をオンにすると、色に加えて、または色を使用する代わりに、形状を使用して状態を示します。
- Animation Effects (アニメーション効果)をオンにすると、ユーザインタフェース全体で視覚的なアニメーションが有効になります。これを無効にすると、視覚的に邪魔な要素を減らすことができます。
- 大きな文字をオンにすると、ユーザインタフェース内のすべての文字のサイズが大きくなります。
- Cursor Size (カーソルサイズ)を変更して、ポインタの可視性を向上させることができます。

- Sound Keys (サウンドキー)をオンにすると、システムは `Num Lock` キーまたは `Caps Lock` キーが切り替わるときにサウンドを再生します。

- Always Show Scrollbars (常にスクロールバーを表示)を有効にすると、 スクロールバーを常に表示しておくため、スクロールバーを見つけるのが難しいユーザに役立ちます。

4.3.3 聴覚支援

アクセシビリティダイアログのHearing (聴覚障害)セクションでは、聴覚に障害のあるユーザを支援する機能を有効にできます。

Overamplification (オーバーアンプリフィケーション)をオンにすると、システム音量が100%を超えるため、難聴のユーザに役立ちます。音質が低下する可能性があるのでご注意ください。

Visual Alerts (ビジュアルアラート)をオンにすると、アラート音が発生するときに視覚的な通知が表示されます。ウィンドウのタイトルを点滅させるか、画面全体を点滅させるかを選択できます。Test Flash (テストフラッシュ)を使用して効果をプレビューします。

4.3.4 入力支援

アクセシビリティダイアログのTyping (入力)セクションでは、動作に障害のあるユーザを支援する機能を有効化および設定できます。

- Screen Keyboard (スクリーンキーボード)では、オンスクリーンキーボードを使用して入力フィールドに入力できます。
  オンになっている場合は、次に入力するときに画面の下部にオンスクリーンキーボードが表示されます。

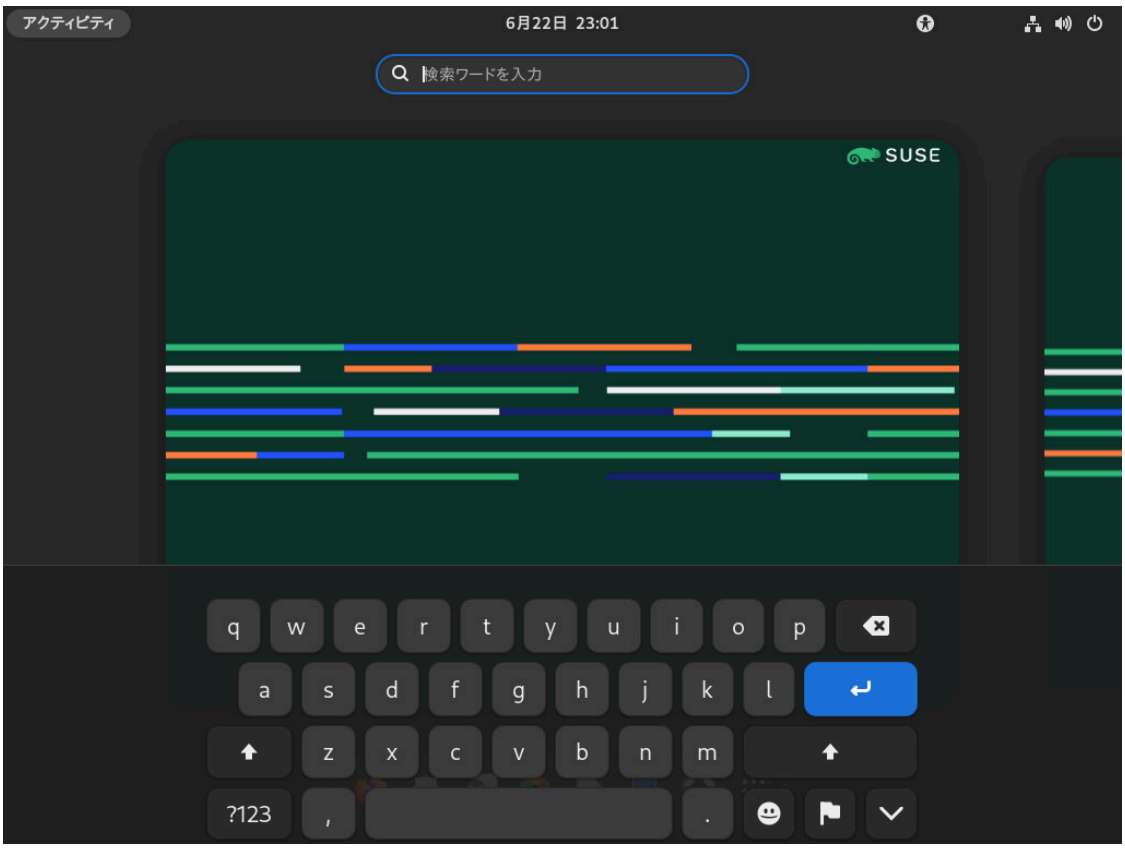

図 4: オンスクリーンキー\'83\'7Bード

- 数字や記号を入力するには、まず?123ボタンを押します。=/<ボタンを押すと、さらに多くの記号が使用できます。アルファベットキーボードに戻るには、ABCボタンを押します。
- キーボードを一時的に非表示にするには、下矢印アイコンの付いたボタンを押します。キーボードは、次の使用可能な状況で自動的に再表示されます。キーボードレイアウトを変更するか、地域と言語設定を変更するには、フラグアイコンの付いたボタンを押します。

- Enable by Keyboard (キーボードで有効にする)を使用すると、キーボードを使用してアクセシビリティ機能をオンまたはオフにできます。
- **テキストカーソル**

- Cursor Blinking (カーソルの点滅)は、テキストフィールドでカーソルが点滅するかどうかを制御します。
- Blink Speed (点滅速度)は、カーソルの点滅速度をSlow (遅い)から Fast (速い)まで調整できます。

- **入力支援**
  - Repeat Keys (キーの繰り返し)は、キーを押したままにしたときにキーの押下を繰り返すようにします。
  - Sticky Keys (スティッキーキー)を使用すると、キーの組み合わせを押す場合に、すべてのキーを同時に押すのではなく、一度に1つずつ押すことができます。この機能をオンにすると、修飾キーのシーケンスがキーの組み合わせとして機能します。たとえば、 `Alt` – `<Tab>` というショートカットは、ウィンドウを切り替えます。スティッキーキーがオフになっている場合、両方のキーを同時に押す必要があります。スティッキーキーをオンにすると、 `Alt` を押してから `<Tab>` を押しても同じ操作を実行できます。
  - スローキーを使用すると、キーが押されてから認識されるまでの遅延が発生します。これは、入力したいキーを少しの時間押し続けないと文字が画面に表示されないことを意味します。スローキーは、入力時に誤って複数のキーを同時に押してしまう場合や、1文字目を入力する際にキーボードの正しいキーを押すのが困難な場合に使用します。
  - Bounce Keys (バウンスキー)を使用すると、短い間隔で繰り返し押されたキー入力を無視できます。この機能は、手の震えがあり、キーを一度だけ押そうとしても複数回押してしまうような場合などに便利です。

4.3.5 Pointing and Clicking (ポインティングとクリック)

アクセシビリティ設定のPointing and Clicking (ポインティングとクリック)セクションでは、マウスやその他のポインティングデバイスの使用に関連する動作の障害のあるユーザを支援する機能を有効にしたり、設定したりできます。

- Mouse Keys (マウスキー)では、テンキーを使用してマウスポインタを移動できます。
- Locate Pointer (ポインタの位置表示)では、左 `Ctrl` キーを押すとポインタの位置を確認できます。
- Activate Windows on Hover (ホバー時にウィンドウをアクティブ化)では、ウィンドウの上にポインタを置くとそのウィンドウをアクティブにできます。

- Double-Click Delay (ダブルクリック遅延)では、クリックがダブルクリックとして認識されるまでのクリック間の許容時間を調整できます。
- **クリックアシスト**
  - Simulated Secondary Click (シミュレートされたセカンダリクリック)を使用すると、マウスのプライマリボタンを押したままにすることで、セカンダリクリック(通常はマウスの右ボタンクリックに相当)を実行できます。これは、一方の手の指を別々に動かすのが困難な場合や、ポインティングデバイスにボタンが1つしかない場合に便利です。
  - Hover Click (ホバークリック)を使用すると、マウスポインタを画面上の項目に合わせるとクリックがトリガされます。これは、マウスの移動とクリックを同時に行うのが困難な場合に便利です。
    この機能をオンにすると、小さなホバークリックウィンドウが開き、他のすべてのウィンドウの上に表示されたままになり、ホバー時にどの種類のクリックを行うかを選択できます。マウスポインタをボタンに合わせて動かさずにいると、徐々にポインタの色が変化します。色が完全に変わるとボタンがクリックされます。

4.3.6 [ズーム]

アクセシビリティ設定のズームセクションでは、視覚に障害のあるユーザを支援する機能を有効にすることができます。

- デスクトップの拡大表示を使用すると、画面全体を拡大できます。
- 拡大鏡セクションには、Magnifier View (拡大鏡の表示)、Screen Area (画面領域)、Follow Behavior (動作の追跡)などの詳細な設定オプションが用意されています。
- 十字ポインタセクションには、Overlap Mouse Cursor (マウスカーソルのオーバーラップ)、太さと長さのスライダー、 色などのオプションが含まれています。
- カラーフィルタには、拡大鏡領域の色を反転する反転オプションと、色の効果を調整するための明度、コントラスト、色のオプションがあります。

5 GNOME Desktopの設定のカスタマイズ

背景を変更したり、個人の好みやニーズに合わせて言語やキーボードの設定を変更するなど、GNOME Desktopの設定をカスタマイズする方法を習得します。

5.1 デスクトップの背景の設定

デスクトップの背景とは、デスクトップに適用されたイメージまたは色です。画面のロック時に表示するイメージをカスタマイズすることもできます。

デスクトップの背景を変更するには:

1. デスクトップを右クリックし、Change Background (背景の変更)を選択します。

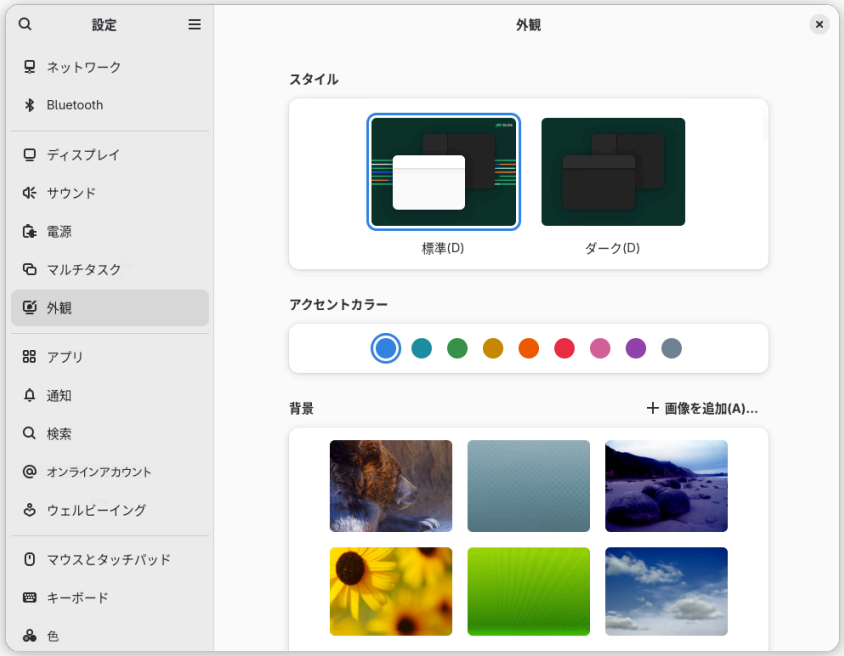

図 5: GNOME背景の設定

2. コンテンツ領域に表示されている壁紙(システムで配布されている設定済みの画像)の1つを選択します。

3. または、Add Picture (画像の追加)をクリックして、`Pictures`ディレクトリ(`~/Pictures`)から、またはファイルシステムの別の場所からイメージを選択します。

4. 設定ダイアログを閉じます。
新しい背景がデスクトップに表示されるようになりました。

5.2 言語の設定

SUSE Linux Enterprise Serverは、任意の複数の言語で使用できるように設定することができます。言語設定はダイアログやメニューの言語を決定し、キーボードや時計のレイアウトも決定します。

言語設定を行うには、デスクトップを右クリックし、設定 › システム › 地域と言語を選択します。

ここでは、次の項目を選択できます。

- 言語。リストから言語を選択します。変更を有効にするには、デスクトップセッションを再起動するように求められます。これを行うには、セッションをログアウトし、あとで再度ログインする必要があります。
- Formats (フォーマット)。日付、数、通貨、および関連するオプションのフォーマットを変更するには、リストから国を選択します。変更を有効にするには、セッションをログアウトし、あとで再度ログインする必要があります。

注記: `ibus-setup`を使用して行われた設定が有効にならない

GNOMEでは、**`ibus-setup`**を使用して行われた設定が有効になりません。**`ibus-setup`**はIceWMを設定する場合にのみ使用できます。代わりに、必ず設定アプリケーションを使用してください。

- 入力方法を変更するには、設定ダイアログを開いて、ナビゲーションペインからキーボードを選択します。
- 入力方法を切り替えるキーの組み合わせを変更するには、キーボード › キーボードショートカットを使用します。ここで、Typing (入力)カテゴリおよびSwitch to next input source (次の入力ソースに切り替える)エントリを選択します。

5.3 キーボードの設定

キーの自動繰り返しやカーソルの点滅速度、アクセシビリティ機能などの追加の設定については、4.3項 「支援技術」を参照してください。キーボードレイアウトを設定するには、4.3.4項 「入力支援」を参照してください。

キーボードショートカットを変更するには、デスクトップを右クリックして、設定を選択します。ここで、キーボード › キーボードショートカットを選択します。

このダイアログには、システムに設定されているキーボードショートカットが表示されます。キーの組み合わせを編集するには、変更するエントリをクリックします。新しいキーの組み合わせを設定するには、各キーを押します。ショートカットを無効にするには、代わりに `<-` を押します。

5.4 <Compose>キーを使用した特殊文字の入力

GNOMEには、<Compose>キーが用意されており、指定された<Compose>キーを押した後で他のキーのシーケンスを押すことで、さまざまな特殊文字や記号を入力することができます。

<Compose>キーを有効にして設定するには、設定 › キーボードを開きます。

メインパネルで、 Special Character Entry (特殊文字入力)セクションを見つけ、 <Compose>キーを選択します。オンにして、キーボードのどのキーを<Compose>キーとして機能させるかを選択します。

<Compose>キーを使用するには、選択した<Compose>キーをを押して放し、2つ以上の文字の特定のシーケンスを入力します。次に例を示します。

- `<Compose>キー` を押し、次に `o` – `c` を押して、「©」を入力します。
- `<Compose>キー` を押し、次に `a` – `'` を押して、「á」を入力します。
- `<Compose>キー` を押し、次に `<` – `=` を押して、「≦」を入力します。
- `<Compose>キー` を押し、次に `1` – `2` を押して、「½」を入力します。

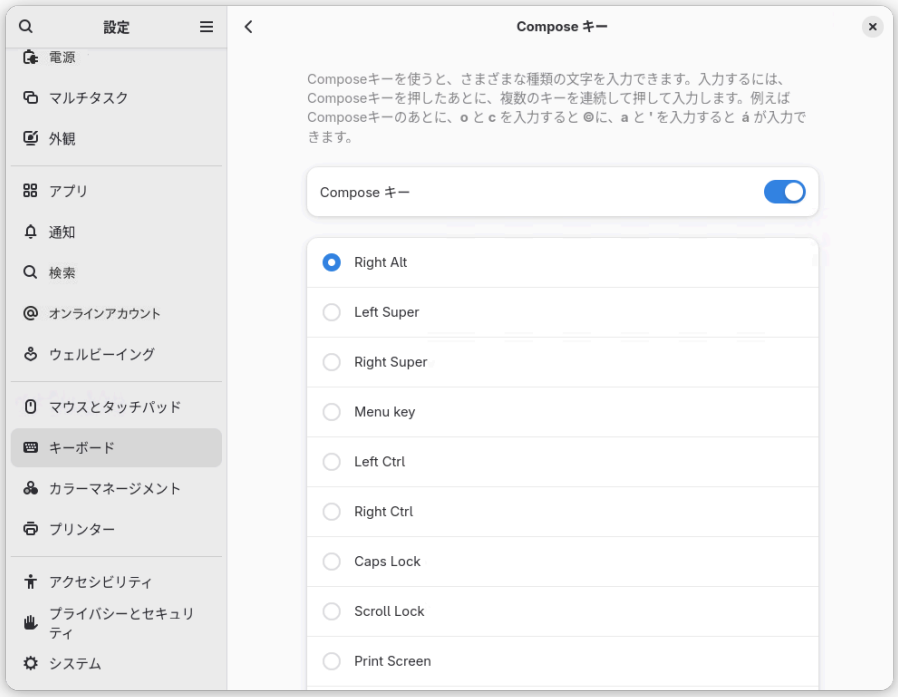

図 6: TWEAKSでの<COMPOSE>キーの有効化

5.5 ブルートゥース設定の指定

ブルートゥースモジュールでは、ブルートゥース上でマシンを表示するかどうかを設定したり、利用可能なブルートゥースデバイスに接続したりすることができます。ブルートゥース接続を設定するには、次の手順に従います。

1. デスクトップを右クリックし、設定 › ブルートゥースを選択します。
2. ブルートゥースを使用するには、上部のスイッチをオンにします。
   お使いのコンピュータは、ブルートゥースパネルが開いている限り表示されます。

   ### 注記: 一時的な表示

   表示スイッチは、一時的にのみ使用します。これをオンにする必要があるのは、ブルートゥースデバイスへの接続の初期セットアップの場合のみです。接続が確立した後は、スイッチをオフにします。

3. 接続元のデバイスでも、ブルートゥースの接続と表示をオンにします。

4. デバイスが見つかってリストに表示された場合は、そのデバイスをクリックして接続を確立します。
   2つのデバイスのPINが一致しているかどうかの確認を求められます。

5. PINが一致している場合は、コンピュータとデバイスの**両方**で一致していることを確認します。
   これでペアリングが確立されました。コンピュータ上のリストでは、デバイスが接続済みと表示されます。
   デバイスタイプによって、たとえば、GNOMEファイルのストレージデバイス、再生アプリケーションのサウンドデバイスなど、別のアプリケーションで利用可能になります。

ペアになっているブルートゥースデバイスに接続するには、リストでそのデバイスを選択します。表示されるダイアログで、接続スイッチをオンにします。Send Files (ファイルの送信)ボタンを使用して、接続済みデバイスにファイルを送信できます。携帯電話などのデバイスを接続している場合は、適切なオプションを有効にすることで、ネットワークデバイスとして使用できます。

コンピュータ上のリストから接続済みデバイスを削除するには、Remove Device (デバイスの削除)をクリックして、選択した操作を確認します。ペアを削除するには、デバイス上でも同じ操作を実行します。

5.6 電源の設定

このダイアログで使用可能な設定は、ご使用のハードウェアによって異なります。以下では、ラップトップを使用する場合に通常使用できるオプションについて説明します。ワークステーションでは、記載したオプションの多くが使用できません。

1. デスクトップを右クリックし、設定を選択します。

2. ナビゲーションペインでPower (電源)を選択します。

3. Power Saving (省電力)セクションで、何分後に画面をブランクにする(または画面をブランクにしない)かを設定します。

4. Automatic Screen Blank (自動画面ブランク)セクションで、一定期間操作が行われなかった後にコンピュータが一時停止するまでの時間を設定します。

5.7 マウスとタッチパッドの設定

マウスおよびタッチパッドオプションを変更するには、デスクトップを右クリックし、設定を選択します。次に、マウスとタッチパッドを選択します。

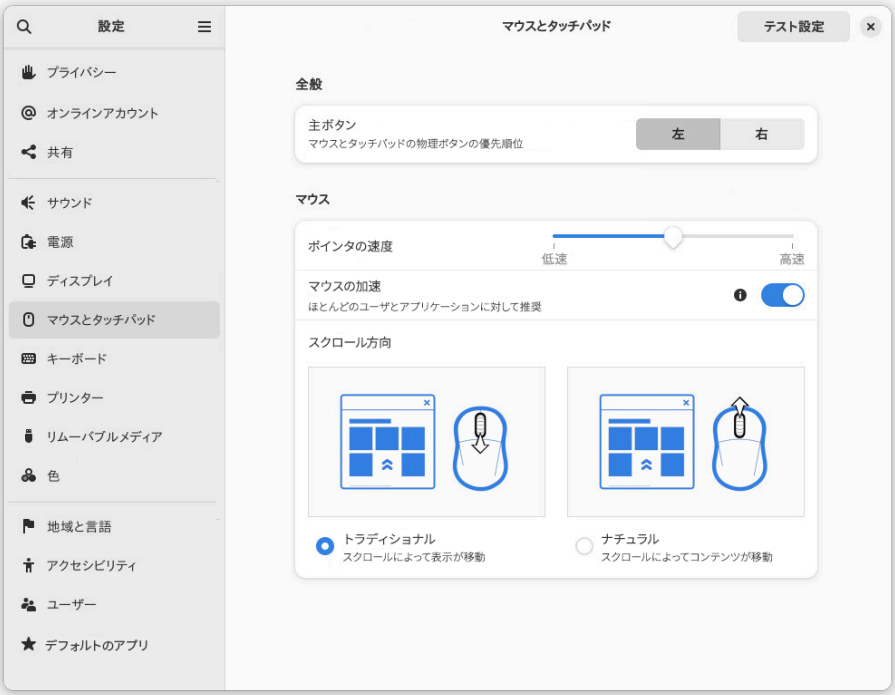

図 7: マウスとタッチパッドの設定ダイアログ

- ダイアログの一般セクションでは、プライマリボタンの方向(左または右)を設定できます。
- ダイアログのMouse (マウス)セクションでは、Pointer Speed (ポインタの速度)を使用してマウスポインタの感度を調整します。
  Natural Scrolling (ナチュラルスクローリング)を使用して、マウスでスクロールする際に、コンテンツが移動する方向を設定できます。［Natural Scrolling (ナチュラルスクローリング)］がオフの場合、スクロールホイールを**下に**押すと、コンテンツは**上に**移動します。［Natural Scrolling (ナチュラルスクローリング)］がオンの場合、マウスホイールと同じ方向にコンテンツは移動します。
- 設定をテストするには、Test Settings (設定のテスト)をクリックして、ポインティングデバイスを操作してみます。

マウスのアクセシビリティオプションの設定については、4.3.5項 「Pointing and Clicking (ポインティングとクリック)」を参照してください。

5.8 プリンタのインストールと設定

プリンタダイアログでは、使用可能なローカルサーバまたはリモートCUPSサーバに接続し、プリンタを設定できます。

プリンタモジュールを開始するには、デスクトップを右クリックし、設定 › プリンタを選択します。詳細については、https://help.gnome.org/users/gnome-help/stable/printing.html.en を参照してください。

5.9 画面の設定

画面の解像度および向きを指定したり、複数の画面を設定したりするには、デスクトップを右クリックし、ディスプレイを選択します。このダイアログで使用可能な設定オプションは、モニタ設定が単一か、複数かによって異なります。

5.9.1 単一のモニタ設定

図 8: 単一のモニタ設定のダイアログ

向き

向きを変更可能なモニタを使用する場合は、モニタをオンにする前に、表示を調整する必要があります。向きを使用して、これを行います。モニタがサポートする向きを選択し、選択ボックスを閉じて、適用をクリックします。

解像度

画面解像度を変更するには、解像度をクリックします。新しい値を選択し、適用をクリックします。

夜間モード
: 暗い環境で作業している場合、モニタによって目が疲労しやすくなる可能性があります。これを防止するため、夜間モードをオンにして、画面のカラーパレットを暖色のトーンに変更します。Schedule (スケジュール)の下で、夜間モードをオンまたはオフに指定して、この設定を自動化することができます。

5.9.2 複数のモニタ設定

追加のモニタを設定するには、モニタをコンピュータに接続します。システムがすぐに認識しない場合、または設定を調整する場合は、次の手順を実行します。

1. アクティビティ画面を開いて、「`Displays`」と入力します。
2. ディスプレイをクリックすると、パネルが開きます。
3. ディスプレイ配置図で、ディスプレイを目的の相対位置にドラッグします。
4. Primary Display (プライマリディスプレイ)をクリックして、プライマリディスプレイを選択します。
   プライマリディスプレイにはtop bar (トップバー)があり、アクティビティ画面が表示されます。
5. 方向、解像度またはスケール、およびリフレッシュレートを選択します。
6. 適用をクリックします。新しい設定は20秒間適用されてから元に戻ります。設定に問題がなければ、Keep Changes (変更を保持)をクリックします。

2つ以上の画面では、次のディスプレイモードを使用できます。

Join Display (ディスプレイの結合)
: 画面の端が結合されるため、ウィンドウとダイアログを1つのディスプレイから別のディスプレイに渡すことができます。

Mirror (ミラー)
: 同じコンテンツがすべてのディスプレイに、同じ解像度と方向で表示されます。

Single display (シングルディスプレイ)
: 1つのディスプレイのみが設定され、他のディスプレイの電源が実質的にオフになります。たとえば、蓋が閉じている状態でドッキングされたラップトップに接続された外部モニター。

5.10 サウンドの設定

サウンドツールでは、サウンドデバイスを管理できます。ここでは、一般的な出力音量を選択するか、サウンドをオフにすることができます。

サウンド設定を開くには、デスクトップを右クリックし、設定 › サウンドを選択します。

図 9: サウンドの設定

出力カテゴリを使用して、サウンド出力用のデバイスを選択します。好みのOutput Volume (出力ボリューム)とBalance (バランス)設定を選択します。

入力カテゴリを使用して、入力デバイス音量を設定したり、入力を一時的にミュートします。複数のサウンドデバイスがある場合、入力デバイスリストでオーディオ入力用のデフォルトデバイスを選択することもできます。

Alert Sound (アラート音)を選択することもできます。

5.11 デフォルトアプリケーションの設定

1. 一般的なタスクのデフォルトアプリケーションを変更するには、デスクトップを右クリックして 設定 › Apps (アプリ) › Default Apps (デフォルトのアプリ)を選択します。

図 10: GNOMEデフォルトのアプリ

2. Default Apps (デフォルトのアプリ)のセクションでは、優先アプリケーションを選択できます。カテゴリに適したアプリケーションがインストールされていない場合は、`No Apps Available`としてリストされます。カテゴリをクリックして、使用可能なアプリケーションの 1 つを表示して選択します。
デフォルトのアプリケーションの下にある Removable Media (リムーバブルメディア)セクションでは、オーディオCD、ビデオDVD、USBドライブなどのメディアデバイスを処理する方法を設定できます。Media Autostart (メディアの自動起動)を有効または無効にして、メディアの接続時にアプリケーションを自動的に起動するかどうかを制御できます。

> メディアの種類(CDオーディオ、DVDビデオ、ミュージックプレーヤー、写真)ごとに、ドロップダウンメニューから`Ask what to do`や利用可能な場合は特定のアプリケーションなどのアクションを選択できます。

5.12 セッション共有環境設定

リモートアクセス用にデスクトップ共有を設定するには、デスクトップを右クリックし、設定を選択します。サイドバーで、下にスクロールして システム › Remote Desktop (リモートデスクトップ) › Desktop Sharing (デスクトップ共有)を選択します。

何かを共有する前に、ダイアログの上部でスイッチをオンにする必要があります。このスイッチは、すべての共有オプションをすばやく無効にする必要がある場合にも役立ちます。

Remote Desktop (リモートデスクトップ)インタフェースには、Remote Login (リモートログイン)タブが含まれており、セッションへのリモートアクセスを有効または無効にすることができます。リモートログインを許可するには、 Remote Login (リモートログイン)トグルを「オン」に切り替えて、管理者パスワードを入力します。

6 詳細情報

SUSE Linux Enterprise Serverではいくつかの情報源とドキュメントが提供されており、その多くはインストール済みのシステムに統合されています。

アプリケーションから直接GNOMEまたはLibreOfficeのヘルプに入るには、 ヘルプ ボタンをクリックするか、 `F1` キーを押します。どちらのオプションでもヘルプセンターのアプリケーションのマニュアルに直接アクセスできます。

ただし、ターミナルを開いて「**`yelp`**」と入力するか、またはメインメニューからApps (アプリ) › ヘルプの順にクリックすることによって、GNOMEのヘルプを起動することもできます。

GNOME Desktopを操作する方法の詳細については、https://help.gnome.org を参照してください。

7 法的事項

Copyright© 2006–2026 SUSE LLC and contributors. All rights reserved.

この文書は、GNU Free Documentation Licenseのバージョン1.2または(オプションとして)バージョン1.3の条項に従って、複製、頒布、および/または改変が許可されています。ただし、この著作権表示およびライセンスは変更せずに記載すること。ライセンスバージョン1.2のコピーは、「GNU Free Documentation License」セクションに含まれています。

SUSEの商標については、https://www.suse.com/company/legal/を参照してください。その他の第三者のすべての商標は、各社の所有に帰属します。商標記号(®、™など)は、SUSEおよび関連会社の商標を示します。アスタリスク(*)は、第三者の商標を示します。

本書のすべての情報は、細心の注意を払って編集されています。しかし、このことは正確性を完全に保証するものではありません。SUSE LLC、その関係者、著者、翻訳者のいずれも誤りまたはその結果に対して一切責任を負いかねます。

A GNU Free Documentation License

Copyright (C) 2000, 2001, 2002 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA. Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

0. PREAMBLE

The purpose of this License is to make a manual, textbook, or other functional and useful document "free" in the sense of freedom: to assure everyone the effective freedom to copy and redistribute it, with or without modifying it, either commercially or non-commercially. Secondarily, this License preserves for the author and publisher a way to get credit for their work, while not being considered responsible for modifications made by others.

This License is a kind of "copyleft", which means that derivative works of the document must themselves be free in the same sense. It complements the GNU General Public License, which is a copyleft license designed for free software.

We have designed this License to use it for manuals for free software, because free software needs free documentation: a free program should come with manuals providing the same freedoms that the software does. But this License is not limited to software manuals; it can be used for any textual work, regardless of subject matter or whether it is published as a printed book. We recommend this License principally for works whose purpose is instruction or reference.

1. APPLICABILITY AND DEFINITIONS

This License applies to any manual or other work, in any medium, that contains a notice placed by the copyright holder saying it can be distributed under the terms of this License. Such a notice grants a world-wide, royalty-free license, unlimited in duration, to use that work under the conditions stated herein. The "Document", below, refers to any such

manual or work. Any member of the public is a licensee, and is addressed as "you". You accept the license if you copy, modify or distribute the work in a way requiring permission under copyright law.

A "Modified Version" of the Document means any work containing the Document or a portion of it, either copied verbatim, or with modifications and/or translated into another language.

A "Secondary Section" is a named appendix or a front-matter section of the Document that deals exclusively with the relationship of the publishers or authors of the Document to the Document's overall subject (or to related matters) and contains nothing that could fall directly within that overall subject. (Thus, if the Document is in part a textbook of mathematics, a Secondary Section may not explain any mathematics.) The relationship could be a matter of historical connection with the subject or with related matters, or of legal, commercial, philosophical, ethical or political position regarding them.

The "Invariant Sections" are certain Secondary Sections whose titles are designated, as being those of Invariant Sections, in the notice that says that the Document is released under this License. If a section does not fit the above definition of Secondary then it is not allowed to be designated as Invariant. The Document may contain zero Invariant Sections. If the Document does not identify any Invariant Sections then there are none.

The "Cover Texts" are certain short passages of text that are listed, as Front-Cover Texts or Back-Cover Texts, in the notice that says that the Document is released under this License. A Front-Cover Text may be at most 5 words, and a Back-Cover Text may be at most 25 words.

A "Transparent" copy of the Document means a machine-readable copy, represented in a format whose specification is available to the general public, that is suitable for revising the document straightforwardly with generic text editors or (for images composed of pixels) generic paint programs or (for drawings) some widely available drawing editor, and that is suitable for input to text formatters or for automatic translation to a variety of formats suitable for input to text formatters. A copy made in an otherwise Transparent file format whose markup, or absence of markup, has been arranged to thwart or discourage subsequent modification by readers is not Transparent. An image format is not Transparent if used for any substantial amount of text. A copy that is not "Transparent" is called "Opaque".

Examples of suitable formats for Transparent copies include plain ASCII without markup, Texinfo input format, LaTeX input format, SGML or XML using a publicly available DTD, and standard-conforming simple HTML, PostScript or PDF designed for human modification. Examples of transparent image formats include PNG, XCF and JPG. Opaque formats include proprietary formats that can be read and edited only by proprietary word

processors, SGML or XML for which the DTD and/or processing tools are not generally available, and the machine-generated HTML, PostScript or PDF produced by some word processors for output purposes only.

The "Title Page" means, for a printed book, the title page itself, plus such following pages as are needed to hold, legibly, the material this License requires to appear in the title page. For works in formats which do not have any title page as such, "Title Page" means the text near the most prominent appearance of the work's title, preceding the beginning of the body of the text.

A section "Entitled XYZ" means a named subunit of the Document whose title either is precisely XYZ or contains XYZ in parentheses following text that translates XYZ in another language. (Here XYZ stands for a specific section name mentioned below, such as "Acknowledgements", "Dedications", "Endorsements", or "History".) To "Preserve the Title" of such a section when you modify the Document means that it remains a section "Entitled XYZ" according to this definition.

The Document may include Warranty Disclaimers next to the notice which states that this License applies to the Document. These Warranty Disclaimers are considered to be included by reference in this License, but only as regards disclaiming warranties: any other implication that these Warranty Disclaimers may have is void and has no effect on the meaning of this License.

2. VERBATIM COPYING

You may copy and distribute the Document in any medium, either commercially or non-commercially, provided that this License, the copyright notices, and the license notice saying this License applies to the Document are reproduced in all copies, and that you add no other conditions whatsoever to those of this License. You may not use technical measures to obstruct or control the reading or further copying of the copies you make or distribute. However, you may accept compensation in exchange for copies. If you distribute a large enough number of copies you must also follow the conditions in section 3.

You may also lend copies, under the same conditions stated above, and you may publicly display copies.

3. COPYING IN QUANTITY

If you publish printed copies (or copies in media that commonly have printed covers) of the Document, numbering more than 100, and the Document's license notice requires Cover Texts, you must enclose the copies in covers that carry, clearly and legibly, all these Cover Texts: Front-Cover Texts on the front cover, and Back-Cover Texts on the back cover. Both covers must also clearly and legibly identify you as the publisher of these copies. The front cover must present the full title with all words of the title equally prominent and visible. You may add other material on the covers in addition. Copying with changes limited to the covers, as long as they preserve the title of the Document and satisfy these conditions, can be treated as verbatim copying in other respects.

If the required texts for either cover are too voluminous to fit legibly, you should put the first ones listed (as many as fit reasonably) on the actual cover, and continue the rest onto adjacent pages.

If you publish or distribute Opaque copies of the Document numbering more than 100, you must either include a machine-readable Transparent copy along with each Opaque copy, or state in or with each Opaque copy a computer-network location from which the general network-using public has access to download using public-standard network protocols a complete Transparent copy of the Document, free of added material. If you use the latter option, you must take reasonably prudent steps, when you begin distribution of Opaque copies in quantity, to ensure that this Transparent copy will remain thus accessible at the stated location until at least one year after the last time you distribute an Opaque copy (directly or through your agents or retailers) of that edition to the public.

It is requested, but not required, that you contact the authors of the Document well before redistributing any large number of copies, to give them a chance to provide you with an updated version of the Document.

4. MODIFICATIONS

You may copy and distribute a Modified Version of the Document under the conditions of sections 2 and 3 above, provided that you release the Modified Version under precisely this License, with the Modified Version filling the role of the Document, thus licensing distribution and modification of the Modified Version to whoever possesses a copy of it. In addition, you must do these things in the Modified Version:

A. Use in the Title Page (and on the covers, if any) a title distinct from that of the Document, and from those of previous versions (which should, if there were any, be listed in the History section of the Document). You may use the same title as a previous version if the original publisher of that version gives permission.

B. List on the Title Page, as authors, one or more persons or entities responsible for authorship of the modifications in the Modified Version, together with at least five of the principal authors of the Document (all of its principal authors, if it has fewer than five), unless they release you from this requirement.

C. State on the Title page the name of the publisher of the Modified Version, as the publisher.

D. Preserve all the copyright notices of the Document.

E. Add an appropriate copyright notice for your modifications adjacent to the other copyright notices.

F. Include, immediately after the copyright notices, a license notice giving the public permission to use the Modified Version under the terms of this License, in the form shown in the Addendum below.

G. Preserve in that license notice the full lists of Invariant Sections and required Cover Texts given in the Document's license notice.

H. Include an unaltered copy of this License.

I. Preserve the section Entitled "History", Preserve its Title, and add to it an item stating at least the title, year, new authors, and publisher of the Modified Version as given on the Title Page. If there is no section Entitled "History" in the Document, create one stating the title, year, authors, and publisher of the Document as given on its Title Page, then add an item describing the Modified Version as stated in the previous sentence.

J. Preserve the network location, if any, given in the Document for public access to a Transparent copy of the Document, and likewise the network locations given in the Document for previous versions it was based on. These may be placed in the

"History" section. You may omit a network location for a work that was published at least four years before the Document itself, or if the original publisher of the version it refers to gives permission.

K. For any section Entitled "Acknowledgements" or "Dedications", Preserve the Title of the section, and preserve in the section all the substance and tone of each of the contributor acknowledgements and/or dedications given therein.

L. Preserve all the Invariant Sections of the Document, unaltered in their text and in their titles. Section numbers or the equivalent are not considered part of the section titles.

M. Delete any section Entitled "Endorsements". Such a section may not be included in the Modified Version.

N. Do not retitle any existing section to be Entitled "Endorsements" or to conflict in title with any Invariant Section.

O. Preserve any Warranty Disclaimers.

If the Modified Version includes new front-matter sections or appendices that qualify as Secondary Sections and contain no material copied from the Document, you may at your option designate some or all of these sections as invariant. To do this, add their titles to the list of Invariant Sections in the Modified Version's license notice. These titles must be distinct from any other section titles.

You may add a section Entitled "Endorsements", provided it contains nothing but endorsements of your Modified Version by various parties--for example, statements of peer review or that the text has been approved by an organization as the authoritative definition of a standard.

You may add a passage of up to five words as a Front-Cover Text, and a passage of up to 25 words as a Back-Cover Text, to the end of the list of Cover Texts in the Modified Version. Only one passage of Front-Cover Text and one of Back-Cover Text may be added by (or through arrangements made by) any one entity. If the Document already includes a cover text for the same cover, previously added by you or by arrangement made by the same entity you are acting on behalf of, you may not add another; but you may replace the old one, on explicit permission from the previous publisher that added the old one.

The author(s) and publisher(s) of the Document do not by this License give permission to use their names for publicity for or to assert or imply endorsement of any Modified Version.

5. COMBINING DOCUMENTS

You may combine the Document with other documents released under this License, under the terms defined in section 4 above for modified versions, provided that you include in the combination all of the Invariant Sections of all of the original documents, unmodified, and list them all as Invariant Sections of your combined work in its license notice, and that you preserve all their Warranty Disclaimers.

The combined work need only contain one copy of this License, and multiple identical Invariant Sections may be replaced with a single copy. If there are multiple Invariant Sections with the same name but different contents, make the title of each such section unique by adding at the end of it, in parentheses, the name of the original author or publisher of that section if known, or else a unique number. Make the same adjustment to the section titles in the list of Invariant Sections in the license notice of the combined work.

In the combination, you must combine any sections Entitled "History" in the various original documents, forming one section Entitled "History"; likewise combine any sections Entitled "Acknowledgements", and any sections Entitled "Dedications". You must delete all sections Entitled "Endorsements".

6. COLLECTIONS OF DOCUMENTS

You may make a collection consisting of the Document and other documents released under this License, and replace the individual copies of this License in the various documents with a single copy that is included in the collection, provided that you follow the rules of this License for verbatim copying of each of the documents in all other respects.

You may extract a single document from such a collection, and distribute it individually under this License, provided you insert a copy of this License into the extracted document, and follow this License in all other respects regarding verbatim copying of that document.

7. AGGREGATION WITH INDEPENDENT WORKS

A compilation of the Document or its derivatives with other separate and independent documents or works, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the copyright resulting from the compilation is not used to limit the legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. When the Document is included in an aggregate, this License does not apply to the other works in the aggregate which are not themselves derivative works of the Document.

If the Cover Text requirement of section 3 is applicable to these copies of the Document, then if the Document is less than one half of the entire aggregate, the Document's Cover Texts may be placed on covers that bracket the Document within the aggregate, or the electronic equivalent of covers if the Document is in electronic form. Otherwise they must appear on printed covers that bracket the whole aggregate.

8. TRANSLATION

Translation is considered a kind of modification, so you may distribute translations of the Document under the terms of section 4. Replacing Invariant Sections with translations requires special permission from their copyright holders, but you may include translations of some or all Invariant Sections in addition to the original versions of these Invariant Sections. You may include a translation of this License, and all the license notices in the Document, and any Warranty Disclaimers, provided that you also include the original English version of this License and the original versions of those notices and disclaimers. In case of a disagreement between the translation and the original version of this License or a notice or disclaimer, the original version will prevail.

If a section in the Document is Entitled "Acknowledgements", "Dedications", or "History", the requirement (section 4) to Preserve its Title (section 1) will typically require changing the actual title.

9. TERMINATION

You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Document except as expressly provided for under this License. Any other attempt to copy, modify, sublicense or distribute the Document is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

10. FUTURE REVISIONS OF THIS LICENSE

The Free Software Foundation may publish new, revised versions of the GNU Free Documentation License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. See https://www.gnu.org/copyleft/.

Each version of the License is given a distinguishing version number. If the Document specifies that a particular numbered version of this License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that specified version or of any later version that has been published (not as a draft) by the Free Software Foundation. If the Document does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published (not as a draft) by the Free Software Foundation.

ADDENDUM: How to use this License for your documents

```
Copyright (c) YEAR YOUR NAME.
Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document
under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.2
or any later version published by the Free Software Foundation;
with no Invariant Sections, no Front-Cover Texts, and no Back-Cover Texts.
A copy of the license is included in the section entitled “GNU
Free Documentation License”.
```

If you have Invariant Sections, Front-Cover Texts and Back-Cover Texts, replace the “with...Texts.” line with this:

```
with the Invariant Sections being LIST THEIR TITLES, with the
Front-Cover Texts being LIST, and with the Back-Cover Texts being LIST.
```

If you have Invariant Sections without Cover Texts, or some other combination of the three, merge those two alternatives to suit the situation.

If your document contains nontrivial examples of program code, we recommend releasing these examples in parallel under your choice of free software license, such as the GNU General Public License, to permit their use in free software.